

『産業学会研究年報』投稿規程・執筆要項（2019年度）

I. 投稿資格があるのは、2019年6月9日の全国研究会の終了時点で会員であること（学生会員を含む）、ならびに投稿時点までに会費を納めていること、です。

II. スケジュール

(1)2019年8月30日（金）までに編集委員会アドレスにメール添付（下記アドレス）でお送りください。プリントアウトしたものを送る必要はありません。提出に関しては以下、同様です。

(2)掲載可、掲載不可、条件付掲載可のお返事を11月上旬に致します。

条件付掲載可の場合、必要な修正した論文を12月13日（金）までに編集委員会まで再提出してください。この期限を守れない場合は、辞退とみなします。

辞退とみなされた論文は、審査のプロセスを打ち切ります。修正なされた論文で翌年度に投稿していただいてもかまいませんが、他の論文と同じように審査を受けていただきます。

(3)修正・再提出された論文に対しては2020年1月中旬に、掲載可、掲載不可のお返事をさしあげます。この時点で、条件付掲載という結論はございません。掲載不可となった論文を修正して翌年度に投稿していただいてもかまいませんが、他の論文と同じように審査を受けていただきます。

(4)掲載可となった場合、最終原稿とともに、英文タイトルと英文要旨(300Words)を添えて2020年2月14日（金）までに編集委員会まで提出してください。印刷所に入稿します。英文については、英語を母国語とするネイティブのチェックを投稿者自身が依頼して行うことを原則とします。正式に掲載可となるまで、英文要旨を準備する必要はありませんが、ネイティブチェックを1か月でしていただかなくてはなりませんから、候補になる方をあたっておかれることをお勧めします。

なお、2月14日の提出期限までに提出されなかった方も、(2)と同様、辞退とみなします。

III. 執筆要項

1. 査読は、レフリーは執筆者を知らない、執筆者はレフリーを知らない、という2重盲検制度で行います。したがって、氏名、所属、連絡先（住所、メールアドレス、電話番号）、謝辞は1頁目に書いてください。この頁はレフリーにはわたしません。大学院生の場合、所属先としては、「XX大学大学院博士後期課程」など「課程」まで書いてください。

本文中には執筆者を推測できることは書かないでください。例えば「拙稿において」などとして過去の自著を注記するようなことはなさないでください。自己引用をされる場合も、他人の論文と同様の形式で引用してください。

2. 枚数：24,000字以内です。

ワープロ打ちでA4に横書き，1ページに35字X30行，フォント10.5ポイント，できる限り「MS 明朝」，「英字 Century」，英字・数字は半角（ひとけたなら全角）をお願いします。

上記の枚数は図表，注，参考文献込みです。図表は半頁使うものには500字，1頁使うものは1000字に換算してください。図表には上または下に番号とタイトルをつけ，出所も明示してください。

図は原則として原稿のままで製版しますので，縦横の比，フォントの種類・ポイント数なども，印刷時のイメージを念頭に置いて作成ください。印刷は白黒ですので，図表の配色にはご注意ください。黄線は明瞭に出ませんし，濃すぎる図表も見にくくなります。一度，白黒で出力してご確認ください。

制限枚数を超過する場合は執筆者の自己負担としますが，掲載をお断りさせていただく場合もございます。

3. 見出し番号は以下のようにお願いいたします。なお，「はじめに」や「おわりに」についても番号を振ってください。明朝で書いてくださっても結構ですが，印刷時にはゴシックになります。

- 1. はじめに（数字全角）
 - 1.1 研究の背景（数字半角）
 - 1.1.1 新技術の出現（数字半角）

……

4. 提出に際しては，編集委員会までワード・エクセルのファイルをメール添付でお送りください。ハードコピーの郵送は不要です。図表は本文に差し込まないでください。本文の後ろにおいても，別のファイルにしてもかまいませんが，図表ファイルは1つ（エクセルブック内部でワークシートが複数なのは可）にしてください。そして，本文では図表の挿入箇所を大まかに指示してください。

5. 注は文末注とします。

6. 文献引用の表記は，APA（アメリカ心理学協会）方式に倣って下記の通りとします。本文ならびに文末注の中では「田中(2005, p.45)によれば，」「XXXである(田中 2006,

pp. 30-32)」とし、参考文献に文献名を書きます。

文献名・雑誌名は二重カギカッコ，論文名は一重カギカッコとします。

田中太郎(2005)『産業経済』東洋経済新報社。

田中太郎(2008)「日本の自動車産業」，佐藤一郎編『日本の産業構造』日本評論社。

7. 英語文献の執筆者名はファミリーネームのみ書き，ファーストネームとミドルネームはイニシャルとします。論文名は“ ”でくくり，雑誌名・書名，巻数はイタリックとしてください。単行書は出版場所と出版社を記載します。

Carlton, D. W. and Peroff, J. M. (1994) *Industrial Structure and Economic Performance*, Boston: Houghton Press.

Mowery, D. C. (1999) “The Computer Software Industry,” In Mowery, D. C. and Nelson, R. R. (eds.) *Sources of Industrial Leadership*, Cambridge: Cambridge University Press.

Mansfield, E. (1988) Industrial R&D in Japan and the United States: A Comparative Study, *American Economic Review*, 78(2), 223-228.

8. 日本語を母語としない留学生の方は，本文について日本語ネイティブによるチェックを受けた上で提出してください。

執筆要項に従っていない論文は，編集委員会の権限で，審査の際に減点の対象とさせていただきます。

9. 掲載が許可され最終的に入稿したあとの，印刷原稿の校正は執筆者にお願いいたします。校正は2校までです。3校をご希望の方は，2校返送の際に印刷所にお申し出ください。校正原稿は印刷所から直接，郵送されます。2月14日に入稿論文をご提出の際に，校正ゲラの希望郵送先を編集委員会までご連絡ください。

10. 抜き刷りは50部まで無料で差し上げます。それ以上の部数が必要な場合は自己負担になりますが，校正時に印刷所にご連絡ください。

11. 研究年報掲載後の論文の著作権は産業学会に帰属することを御了承ください。(独)科学技術振興機構のJ-STAGEにて電子版を公開するために必要な措置です。

以上です。

ご質問がございましたら，ご遠慮なく編集委員会までお尋ねください。よろしくお申し上げます。

産業学会理事 『研究年報』編集委員長

川端望

980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院経済学研究科

022-795-6279

sisjeditor@gmail.com (研究年報編集専用アドレス)